

平成31年兵庫教育大学学部同窓会 研修会

『対話で考える—なぜ勉強するの—』

毎年恒例の研修会は、社会系教育コースの森秀樹先生をお招きし、同窓生も交えた対話を含む、「対話で考える—なぜ勉強するの—」というタイトルで企画しました。子どもたちから、「なぜ勉強するの？」と聞かれたことはありませんか？それに対して、教師としてどのように対応されていますか？日常の何気ない子どもの問いかけをきっかけに、色々と考える機会となるのではと期待しています。

森 秀樹先生のご紹介

森秀樹先生は、1997年、兵庫教育大学に着任されました。学部では、「哲学学説」、「哲学演習」のほか、「初等社会Ⅱ」、「初等社会科授業研究」や「初年次セミナー」を担当されています。また2009 - 2013年の4年間、附属小学校の校長を務められました。ご専門は、哲学（近・現代の哲学、子どもの哲学）で、「子どものための哲学」を「市民性教育」として導入するためのカリキュラムづくりにも取り組まれておられます。

1991年	京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学
1995年	広島大学総合科学部助手
1997年	兵庫教育大学学校教育学部講師
2000年	兵庫教育大学助教授
2013年	兵庫教育大学教授、現在に至る。
2013 - 2016年	兵庫教育大学附属小学校校長

【ひとこと】

「主体的・対話的で深い学び」というフレーズを耳にすることが多くなっています。でも、そもそも「深い対話」とはどのようなものなのでしょう。また、どうすれば「深く」なるのでしょうか。こういった課題についても、この機会にみなさんと考えることができればと楽しみにしています。

※ 託児所の設置について

今回、「総会・研修会に参加したいけれども、小さな子どもがいるから…」という会員のために、「託児」を受け付けます。希望される方は、「人数」「年齢と性別」を参加申込（同窓会事務局：office-dosokai@hyogo-u.ac.jp）と併せてお知らせ下さい。